

アオサギ観察会

2015年5月22日

ヒナの疑問いろいろ

親が巣に残るのはいつまで？ 生まれて間もないヒナは自分で体温調節ができないため、最初の10日ほどは親が四六時中温めています。その後、親が温める時間はだんだん短くなりますが、まだ巣を離れることはできません。ヒナがカラスなどの捕食者に襲われるからです。その心配がなくなるのは孵化後4週目から。この時期になると親は少しずつ巣を離れ、やがて餌を与える時にしか巣に戻ってこなくなります。



ヒナが食べる餌の量は？ 餌の量はヒナの成長とともに変わります。小さなヒナは少ししか餌を食べませんし、大きくなると巣立ちを促すためか親もあまり餌を運んできません。もっとも食欲旺盛なのは3週目の半ば頃。この時期はヒナ1羽で1日330グラムもの餌を食べてしまいます。その量、じつに体重の40%！ 巣にいる期間中、1羽のヒナが食べる量はおよそ15キロと推測されます。

巣立ちはいつ？ アオサギには決定的な巣立ちの瞬間というのはありません。彼らが最初に巣を離れはじめるのは孵化後約25日目。といっても最初のうちは枝伝いに歩いて行くだけですぐに戻ってきます。飛ぶことにしても、最初は飛ぶというよりジャンプという感じで、巣の上で数十センチ飛び上がるだけです。それが孵化後約40日目。や



がて枝から枝へ少しずつジャンプの

距離を伸ばし、それに羽ばたきの推力が加わっていきます。自由に長い距離を飛びはじめるのは孵化後およそ50日目。けれども、その時になってもまだ自分で餌は獲られません。親が戻ると慌てて巣に戻ってきます。出て行ったまま帰らなくなるのは孵化後60日ほど経ってから。いつの間にかいなくなっているのがアオサギの巣立ちなのです。

